

しろくまの語句直前追い上げ講座 第九回 問題編

問題一 昭和60年代の漢字の書き取りです。

- 一 アンケート用紙をカイシュウ（ ）する。
- 二 カクシン（ ）的な意見を述べる。
- 三 品質をホシヨウ（ ）する。
- 四 事態はヨダン（ ）を許さない。
- 五 新会社設立にトウシ（ ）する。
- 六 勧められた役職をコジ（ ）した。
- 七 スライドをウツ（ ）す。
- 八 白カバンをサ（ ）げる。
- 九 薬が（ ）く。
- 一〇 兄はこの春、職にツ（ ）いた。

☆ 三つ以上の読みがある同訓異字は直前におさえよう！

もちろん二つ以上も頻出ですが、直前確認は、「より紛らわしさが強調されるところ」をおさええておいて損はなし。

でも… 探すのめんどくさい！

安心してください。すべてしろくまにおまかせを…

問題二 三つ以上読みがある同訓異字集

一 夜がア（ ）ける

席をア（ ）ける

窓をア（ ）ける

二 アツ（ ）い夏

アツ（ ）いスープ

アツ（ ）いノート

三 喜びをアラワ（ ）す

すがたをアラワ（ ）す

伝記をアラワ（ ）す

四 書きウツ（ ）す

水面にかけをウツ（ ）す

住居をウツ（ ）す

五 事態をオサ（ ）める

国をオサ（ ）める

学問をオサ（ ）める

税金をオサ（ ）める

六．カタ（ ）側を歩く

自由ガタ（ ）で泳ぐ

新ガタ（ ）のテレビ

七．赤ちゃんがタ（ ）つ

家がタ（ ）つ

退路をタ（ ）つ

命をタ（ ）つ

布をタ（ ）つ

八．勉学にツト（ ）める

議長をツト（ ）める

会社にツト（ ）める

九．解決をハカ（ ）る

時間をハカ（ ）る

面積をハカ（ ）る

重さをハカ（ ）る

一〇．マ（ ）の当之无愧

マ（ ）にうける

マ（ ）が悪い

一一．法のもと（ ）の平等

もと（ ）にもどる

もと（ ）をただす

資料をもと（ ）に説明する

これら十一組はしっかり確認しておきましょう。

さてさて「同音異義」は、たくさんあります。あげていったらきりがなし。しろくま分類でいくと

☆ 三つ以上の同音異義

☆ もう使い方がきまっているもの

が、入試ではよく出ます。

問題三・三つ以上の同音異義語

一.あまりカンシン()できない

入試にカンシン()がない

カンシン()をかう

二.右タイショウ()

二つをタイショウ()させる

小学生がタイショウ()

三.幸福をツイキユウ()

真理をツイキユウ()

責任をツイキユウ()

問題四 次はもうきまっているパターン。

一.自由イシ() イシ() 表示

二.人事イドウ()

三.百科ジテン() 国語ジテン()

四.シヨヨウ() 時間

五.セイトウ() 派

六.ゼツタイ() 絶命

七.タイショウ() 的

八.テキセイ() 価格

九 ハンメン () 教師
一〇 ヤセイ () 的。

しろくまの語句直前追い上げ講座 第九回 解説編

問題一 またまた昭和60年代の漢字の書き取りです。

- 一 アンケート用紙をカイシュウ（回収）する。
- 二 カクシン（革新）的な意見を述べる。
- 三 品質をホシヨウ（保証）する。
- 四 事態はヨダン（予断）を許さない。
- 五 新会社設立にトウシ（投資）する。
- 六 勧められた役職をコジ（固辞）した。
- 七 スライドをウツ（映）す。
- 八 白カバンをサ（提）げる。
- 九 薬が（効）く。
- 一〇 兄はこの春、職にツ（就）いた。

今回のテーマは、**同音意義と同訓異字**です。

出題者の書き取りの意図の一つは「使い分け」ができるかどうか。だとするとこの二つがもっとも書き取りで多いものになります。ここを外して直前学習にするのは非効率というもの。これにしばって書き取りの演習するだけでも効果アリ！

二は「核心」「確信」「核_心」の三つがあります。ところが「核」はなんと小学校配当漢字ではないので中学入試には出題されません。ここでは「革新」です。

七・九・十は同訓異字。「写す」「移す」「写す」、「聞く」「効く」「利く」、「付く」「着く」「就く」。今回は「映す」と「効く」と「就く」ですが…

☆ 三つ以上の読みがある同訓異字は直前におさえよう！

もちろん二つ以上も頻出ですが、直前確認は、「より紛らわしさが強調されるところ」をおさええておいて損はなし。

でも… 探すのめんどくさい！

安心してください。すべてしろくまにおまかせを…

問題二 三つ以上読みがある同訓異字集

一 夜がア（明）ける

席をア（空）ける

窓をア（開）ける

二 アツ（暑）い夏

アツ（熱）いスープ

アツ（厚）いノート

三 喜びをアラワ（表）す

すがたをアラワ（現）す

伝記をアラワ（著）す

四 書きウツ（写）す

水面にかけをウツ（映）す

住居をウツ（移）す

五 事態をオサ（収）める

国をオサ（治）める

学問をオサ（修）める

税金をオサ（納）める

六．カタ（片）側を歩く

自由ガタ（形）で泳ぐ

新ガタ（型）のテレビ

七．赤ちゃんガタ（立）つ

家がタ（建）つ

退路をタ（断）つ

命をタ（絶）つ

布をタ（裁）つ

八．勉学にツト（努）める

議長をツト（務）める

会社にツト（勤）める

九．解決をハカ（図）る

時間をハカ（計）る

面積をハカ（測）る

重さをハカ（量）る

一〇．マ（目）の当たりにする

マ（真）にうける

マ（間）が悪い

一一．法のもと（下）の平等

もと（元）にもどる

もと（本）をただす

資料をもと（基）に説明する

これら十一組はしっかり確認しておきましょう。

さてさて「同音異義」は、たくさんあります。あげていったらきりがなし。しろくま分類でいくと

☆ 三つ以上の同音異義

☆ もう使い方がきまっているもの

が、入試ではよく出ます。

問題三・三つ以上の同音異義語

一・あまりカンシン(感心)できない

入試にカンシン(関心)がない

カンシン(歓心)をかう

二・右タイショウ(対称)

二つをタイショウ(対照)させる

小学生がタイショウ(対象)

三・幸福をツイキュウ(追求)

真理をツイキュウ(追究)

責任をツイキュウ(追及)

三・については訓読みをすると分類しやすいですね。

幸福を「追」い「求」める、真理を「追」って「究」める、責任を「追」って、「及」ぼす。それぞれ「追求」「追究」「追及」となるわけです。

次はもうきまっているパターン。

一・意思・意志 自由イシは「意志」、イシ表示は「意思」

二・移動・異動 人事イドウは「異動」

三・辞典・事典 百科ジテンは「事典」、国語ジテンは「辞典」

四・所用・所要 ショヨウ時間は「所要」

五・正統・正当 セイトウ派は「正統」

六・絶対・絶体 ゼツタイ絶命は「絶体」

七. 対照・対象・対称 「的」がつくのはほとんど「対照的」

八. 適正・適性 テキセイ価格は「適正」

九. 反面・半面 「ハンメン教師」は「反面」

※ 「反面教師」って表現は、じつは中華人民共和国の建国者の毛沢東の造語なんですよ。わりと毛沢東の残したことはが日本ではよく使われていて、このほか、「一辺倒」も毛沢東の造語なんです。

一〇. (一〇) 野生・野性 「的」がつくのは「野性的」だけ。

この十パターンは丸覚えしておきましょう

(ではまた続きをお楽しみに)